

吹田市食育推進会議（平成 24 年 7 月 18 日開催）の概要

- 会長 それでは、お手元にお配りしております次第に従いまして、案件に入りたいと思います。 最初に、案件（１）「食に関する取組調査結果」を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。
- 事務局 <資料に基づき説明>
- 会長 事務局の説明について、何か御質問や御意見はございますか。
御質問等がないようでしたら、案件（２）「平成 24 年度（2012 年度）食育推進事業」
を議題とします。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 <資料に基づき説明>
- 会長 青年期に実施した事業及び今後予定しております妊娠・乳幼児期対象事業について
事務局からの提案でした。
事務局の説明について、何か御質問や御意見はございますか。
- A 委員 大学の講座について、2 点質問がございます。
1 点目は、この人数をどのように募集したのかという集め方について、2 点目は、千
里金蘭大学のほうは参加者が 250 名、大阪学院大学は 30 名程度ということで、何
人に声をかけて、これだけの人数が集まったのかということを教えていただきたい
と思います。
- 事務局 1 点目ですが、大学に対する啓発については、大学連携推進協議会という会議がご
ざいまして、市内 4 大学それぞれと市が協定を結んでおります。昨年度の協議会で、
事業の提案をさせていただく機会があり、この度の啓発の場をいただくことができ
ました。人数ですが、千里金蘭大学については新入生オリエンテーションの対象者、
大阪学院大学については、授業の対象者ということです。
- B 委員 案件 1 についてですが、平成 23 年度について、高年期対象に社会福祉協議会が実施
した事業として、配食サービスや世代間交流昼食会などを実施させていただきました。
吹田市内の地区福祉委員会は 33 地区ありまして、地区ごとの参加者数を教えて
いただきたい。また、子育て世代を対象に今回実施する講座について、今のところ
どの程度の申込があるのか教えていただきたい。

- 事務局 案件 1 についての御回答ですが、地区ごとの参加者については、事務局として詳細な情報は持ち合わせていません。主催側に確認のうえ、回答をさせていただきたいと思います。子育てサロン及び子育て広場を対象にした出前講座については、7 月の初旬に、それぞれの代表者が集まる会議で説明させていただきました。その場で申し込みいただいた団体もございまして、現在、子育てサロンが 3 件、子育て広場が 2 件のお申し込みをいただいております。件数については、今後徐々に増えるものと考えております。
- B 委員 食育推進会議に出席して感じるのですが、地区で福祉活動をしていると厳しい場面が多々あります。それに比べて食育は平和だと感じます。何が何でもしなければいけないという状況といえますか、特に昨年度の高齢者を対象にした取組を見ても、あまり知られていない。内容が偏ったものであったのかどうかはわかりませんが、もっと全地区の中に広げて欲しい。特に生活習慣病予防や高齢者にとっては健康管理の問題等いろいろありますので。数字上は取組数も多いですが、もっと実態を調べていただいて、各地区にもっと P R していただきたい。
- 事務局 今回初めて、妊娠乳・幼児期対象の出前講座について、P R をさせていただきました。従来から保健センターで実施しておりました出前講座の中でも、食育という項目はありましたが、今回食育だけに焦点をあてて、全地区の子育ての場を対象に P R させていただけたことは非常にありがたいことでした。地区ごとに 1 回実施するだけで食育を浸透させることは難しいので、可能であれば複数回実施できればと思います。また、今回、妊娠・乳幼児期対象事業について各地区で P R させていただきましたが、地域に食育を根付かせるためにも、今回をきっかけとして、今後も地域で事業を実施していけたらと思っています。
- C 委員 青年期対象の事業で、食に関する意識アンケート調査を実施されたということですが、食育推進計画を策定するにあたっては市民アンケート調査を実施されてますが、今回の調査で新規で追加された項目はあるのでしょうか。
- 事務局 食育推進計画策定時のアンケート調査については、全年齢層から無作為に抽出した市民に対して実施しております。質問項目も多く、青年期についての回収率が他のライフステージに比べて低かったということ、また今回の調査は、オリエンテーションや授業の中で実施するということで、時間的な制約もありますので、項目を絞って実施しました。新規で追加した項目はございません。千里金蘭大学については、幸林会長の御協力もあり、約 250 名の学生にお答えいただきましたので、今後分析をしてフィードバックしたいと考えています。
- D 委員 紙芝居について、公立の保育園及び幼稚園全園に貸し出すのか、それとも希望の園に貸し出すのか。また、実施するのは園の保育士及び幼稚園教諭なのか、保健センターの職員なのか。

- 事務局 必ず全園に貸し出すというわけではなく、希望がある園に貸し出します。保育課及び幼稚園課と調整のうえ、可能な限り多くの園に貸し出しをしていきたいと思えます。実際に各園で実施していただくので、保育士及び幼稚園教諭が行うことになるかと思えます。
- 会長 他に御質問や御意見はございますか。
御質問等がないようでしたら、案件（３）「平成 25 年度（2013 年度）食育推進事業（案）」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 <資料に基づき説明>
- 会長 今の説明に関して、御質問や御意見はございますか。是非ともこうして欲しいという要望でも構いませんので、よろしくお願いします。
- B 委員 成・中年期は、25 歳から 64 歳という非常に年齢の幅が広く、全体を一つのグループとして扱うのは、無理があるのではないのでしょうか。それぞれの年代にあった事業を考える必要があるのではと思いました。高年期については、地域とのつながりを重視された事業なので、是非とも実施していただきたい。地区の責任者が集まる機会もありますので、食育に関する PR をしていただきたい。また、CSW 等にも積極的に PR して欲しい。CSW は、地域の中でのいろんな相談役を担っておりまし、行政と地域の隙間を埋める役目も果たしています。まだまだ開拓の余地はあると思えますので、よろしくお願いいたします。
- 事務局 貴重な御意見ありがとうございます。来年度、成・中年期及び高年期を対象に事業を実施することで、全てのライフステージを対象に事業を実施したことになります。その後、計画の見直しも控えておりますので、年齢の幅をどうするのかについては、見直しの際に検討させていただきたいと思えます。また、高年期対象事業については、地域と連携をとりながら、実施したいと思えます。
- 会長 25 歳から 64 歳までの年齢層をひとまとめにすることは少し無理があるように思えます。それぞれの年代で悩みや問題は異なります。20 歳代と 30 歳代、特に男性では、朝食欠食が多いということが言えますし、40 歳代や 50 歳代になってきますと、肥満やメタボの割合も高くなります。年代ごとの特徴を踏まえたうえで、事業を展開していく必要があります。
- E 委員 年齢に幅があることについては同感しております。せめて、中年期の 40 歳から 64 歳までとそれ以外を分けるほうがいいのではないのでしょうか。また、平均寿命が延びている中で、不健康年数が 10 年ほどあるといわれています。不健康になってからではなく、元気な間にどういう対策が取れるかということも考えていただければと

思います。

F 委員 栄養士ということで、色々な世代の食育に携わっております。高年期の方々を対象にした栄養講座ですと、皆さんどこか調子が悪いといひますか、食べ過ぎると胃がおかしくなるとか、そういった症状が出られた方に、よく噛むことの大事さ等をお伝えすると、実践される方が多いです。それに対して、25 歳から 64 歳までの方は元気な方が多くて、40 代になりますと、ちょっと血圧が高いとか脂質に異常があるかなという程度で、自覚症状がない方が多い。そういう方に、バランスの良い食事等をお伝えしても、なかなか実践していただけないのが現状です。成・中年期を対象に事業をされる際には、実践できるような道筋をつけることが大事だと思います。

事務局 御意見ありがとうございます。成・中年期については、忙しい世代ということもあって、ちょっと血圧が高いとか、ちょっと脂質に異常があるという程度では、日常生活では差し障りない方が多いと思いますので、そのような方に対してどのような方法で啓発できるかが課題だと思っています。例えば講演会については、元々関心がある方は来られますが、関心が無い方に対してどのようにアプローチしていくかが重要で、講演会に拘らず、事業の内容やアプローチの方法について検討して参りたいと思います。今後も御意見いただければと思います。

会長 色々御意見をいただいておりますが、他に御意見、御質問ございましたらよろしく願いいたします。ないようでしたら、案件（4）「その他」について、事務局からお願いします。

事務局 3 点ございます。まず 1 点目として、補足説明になりますが、案件（1）で「食に関する取組調査結果」について説明をさせていただきましたが、集約した結果につきましては、ホームページで公表することを考えております。取組ごとに公表の可否を回答いただいておりますので、公表可能な部分だけを、公表させていただきます。内容について修正がございましたら、7 月中に事務局まで御連絡いただければ対応させていただきます。

2 点目としましては、前回の食育推進会議の中で、食に関する取組を集約して情報発信していくということで、「すいた食育ネット」というホームページを立ち上げると申し上げました。平成 24 年 4 月 1 日から運用しておりまして、他の部局が行っております講座等のお知らせを、これまで何件か情報発信しております。ただ、当初は、吹田市のホームページのトップページから直接「すいた食育ネット」に入っていけるように、バナーを貼ることで対応すると申しておりましたが、広報担当部局と調整をした結果、トップページには個別のバナーを貼り難いということでした。ただ、保健センターのホームページからは、「すいた食育ねっと」にすぐに繋がるように表示をさせていただいておりますし、他の部局が運用しております商業・農業関係のポータルサイトに「すいた食育ネット」のバナーを貼ることで、そちらからも簡単に繋がるようにしております。今後も効果的な運用を目指して改善を行って参りたいと考えております。

3 点目については、事務的な連絡になりますが、次回の食育推進会議につきましては、2 月ごろを予定しております。日程を確定しまして、1 ヶ月前までには御案内をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長 各委員からの御提案、会議を通しての御質問等がございましたらお願いいたします。
無いようでしたら、本日の会議はこれで終了といたします。